

令和2年度 【尼崎市】認知症地域支援推進員活動報告

【尼崎市】の認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員：15名

2 認知症地域支援推進員の役割

①認知症の人（疑いも含む）に対して、状態に応じた適切なサービスが提供されるよう、地域の社会資源を把握し、活用できるようにする。

②活動を通して、認知症の人と家族を支える上での問題点、困難な点等の気づきを情報発信する。

③ ①②を通して、推進員が主体的に、地域の実情に応じた認知症の人やその家族を支援する取り組み方法を考え、実施していく。

報告者氏名：

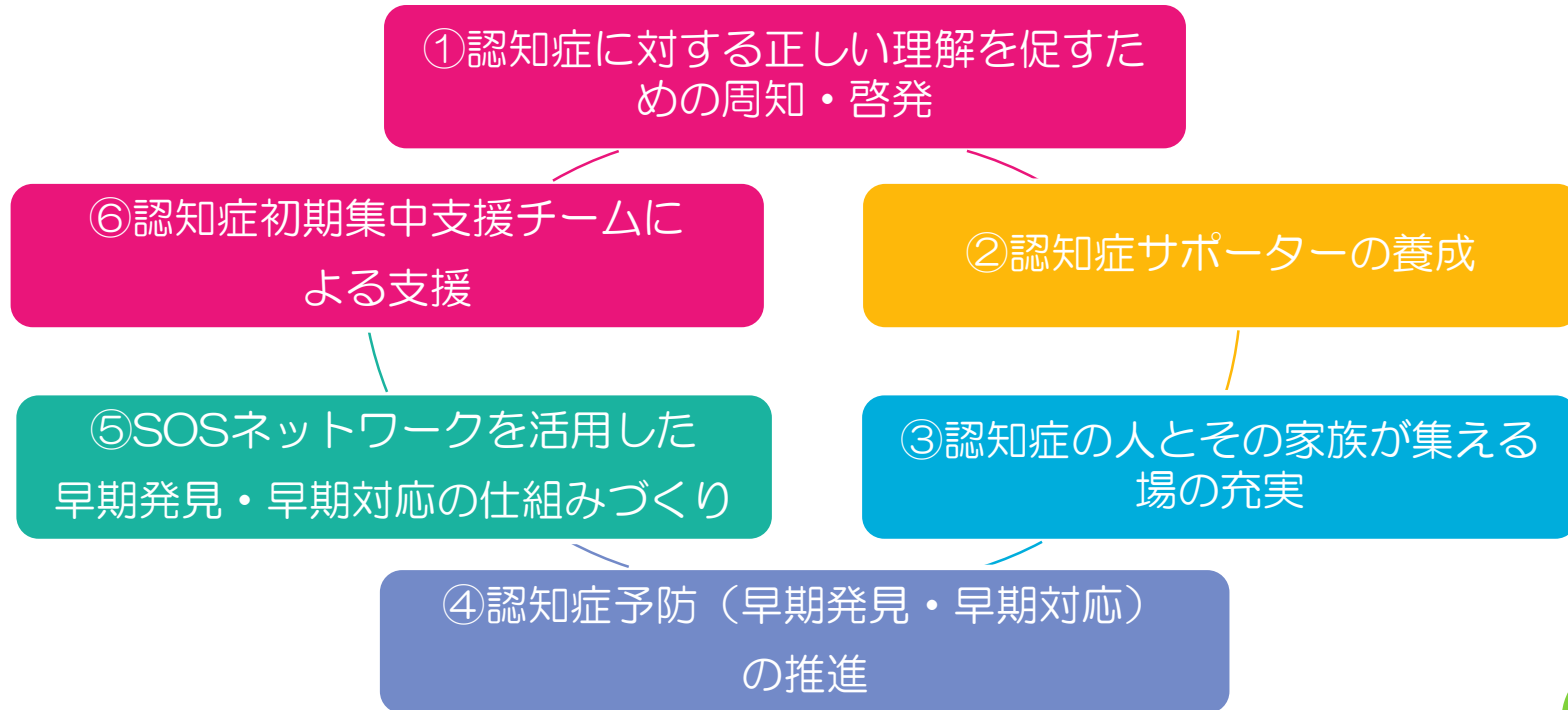
認知症地域支援推進員)

入江、薬丸、木村、井上、麻生、出口、岩森、廣瀬、頼末、宇都宮、
上野、東、加山、西川、野中
(市担当者) 佐々木

【尼崎市】 認知症施策全体図

認知症に対する取り組み（第7期計画における重点的な取組）

認知症の進行や容態の変化に応じ、医療関係者・介護関係者・地域住民・団体等が連携し、早期発見・早期対応の取組の強化とともに、適時適切に切れ目なく必要な支援やサービスにつなげることができる連携の仕組みづくりを進めます。



【尼崎市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号<⑧> 標題 尼崎市での独自の取り組み

～若年性認知症サロン～

<事業概要>

若年性認知症の人は、地域のつどいの場への参加に抵抗感を示す方もおり、高齢期での認知症の人とは社会的背景（仕事や子育て等）も違うため、同じ悩みを共有できる若年性認知症の人がつどえる場を開設し、市内で認知症支援に携わる認知症疾患医療センター（尼崎総合医療センター）や尼崎市地域包括支援センター（認知症地域支援推進員）、包括支援担当で協力し、参加者が「自分たちでつくるサロン」「また来たい、また話したい」「介護者同士で話をしたい」などみんなが参画して取り組むサロンを目指す。



【尼崎市】R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号<⑧>標題尼崎市での独自の取り組み

～若年性認知症サロン～

【第1回目】

- ①日時：令和3年12月5日（土） 13時30分～15時
- ②場所：中央北生涯学習プラザ 音楽室
- ③参加者：19名（当事者および介護者7名、従事者12名）
当事者およびその介護者、支援者

診断から1年以内～数年経過している方も（軽度から中等度の方が参加

- ・60歳代女性（尼崎市在住）とその支援者（病院職員）
- ・60歳代女性（尼崎市在住）とその介護者（姉）
- ・60歳代男性（尼崎市在住）とその介護者（妹）
- ・60歳代男性（他市在住）とその支援者（ボランティア）

従事者

- ・認知症疾患医療センター 看護師、臨床心理士 精神保健福祉相談員 各1人
- ・POSの会 作業療法士 1人
- ・地域包括支援センター職員（認知症地域支援推進員）4人
- ・包括支援担当職員 4人



【尼崎市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号<⑧> 標題 尼崎市での独自の取り組み

～若年性認知症サロン～

④内容

今後、この会をどのように進めていくのかを共に考えるにあたり、参加者と従事者、参加者同士が各々の人となりを知り、参加者からこの会がどんな場となったらよいかを教えてもらうため、自己紹介、各々の好きなこと、やりたいことについて話合った。

参加者の声

- 絵手紙をやってみたい
- カラオケが好き
- 歩くのが好き
- 尼崎城に行ってみたい
- やりたことを見つけたい
- 介護者からは、ほかの若年性認知症の方の経験談など聞け、良かった との声あり



【尼崎市】R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号<⑧>標題尼崎市での独自の取り組み

～若年性認知症サロン～

【第2回目】

①日時：令和3年3月27日（土） 13時30分～15時

②場所：中央北生涯学習プラザ 学習室

③参加者：15名（当事者および介護者3名、従事者12名）

当事者およびその介護者、支援者

- ・60歳代女性（尼崎市在住）とその支援者（病院職員）
- ・60歳代男性（他市在住）とその支援者（ボランティア）

従事者

- ・認知症疾患医療センター看護師、臨床心理士 精神保健福祉相談員 各1人
- ・POSの会 作業療法士 1人
- ・地域包括支援センター職員（認知症地域支援推進員）4人
- ・包括支援担当職員 4人



【尼崎市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号<⑧> 標題 尼崎市での独自の取り組み

～若年性認知症サロン～

④内容

今回は、次回のでかける場所を決めるため、「みんなで出かけよう！」をテーマに尼崎市内でみんなが訪れてみたい場所や、昔の話を交えながら、「こんなところ行ったな」など思いを巡らせながら話をしました。

参加者の声

- ・いろんなところがあってどこでもいいからいける
ならぜひ参加したい
- ・従事者からの質問にも皆さん楽しそうにお答えい
ただいていました



【尼崎市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号<⑧> 標題 尼崎市での独自の取り組み

～若年性認知症サロン～

今後の取り組みについて

① 周知方法について

今回参加できなかったSOSネットワーク登録の方へ再度周知や医療機関の協力（若年性認知症をご対応頂いてる医院等）を頂き、周知の範囲を広げる。

② 参加者への対応について

同じ若年性認知症でも、その人によって病気の進行度には違いがある。また、うつ傾向の方もおり、まずは色々な取り組みの中で成功体験を積んでもらい、「ここに来ることが楽しい」「同じ境遇の人がいる」「居心地がいい場所」と思っただけの雰囲気づくり・サロン作りが重要。

③ 外出支援について

今回の参加者の中にも、家から会場までの道のりが不安な人もおり、現在従事者が行き帰りの外出支援を行っている。「道中に何か事故が起きたらどうしよう・・・」との思いもあり、今後ステップアップ講座受講者、認知症サポーター養成講座受講者の中で、認知症の人へのボランティア活動に意欲がある方を募り、若年性認知症の人が「道に迷う不安があるので外出はしたくない・・・」このハードルを少しでも取り除けることが出来る、外出支援のボランティアの育成ができればと従事者で検討している。